

### 1、入院時情報提供用紙の趣旨

平成18年の介護保険制度改正以来、介護支援専門員が病院と連携することが増えてきました。介護支援専門員と医療が情報共有し連携するために「入院時」「退院時」の場面で書式が必要なため「入院時情報提供用紙」を作成しました。

### 2、入院時情報提供用紙の利用目的

利用者（患者）が住み慣れた地域で安心して在宅療養生活を送るには介護支援専門員をはじめ関係機関が連携をとることが重要です。医療と介護の連携が、効果的に進むことを目的として標準となるツールを作成しました。介護支援専門員と病院等が必要な情報を共有し、対象者・家族への適切な支援、事前準備を行い円滑な在宅生活への移行ができることを目指すものです。

### 3、入院時情報提供用紙の利用方法（活用ルール）

- (ア) 介護支援専門員から病院に向けて、患者（利用者）の入院前の状況と入院中に気をつけて対応してもらいたい内容や、退院に向けてご本人・家族に対してどのような支援が必要になるかを考えるための情報になります。
- (イ) 入院前のADLを記入する。
- (ウ) 病院側に出向き面談し情報提供をします。  
(出来れば病棟看護師またはMSWに面談して渡しましょう)
- (エ) 出向くことが難しいときは、病院に連絡の上、速やかに送付しましょう。
- (オ) 退院前カンファレンスへの参加の意思や退院時の情報が必要なことを事前に伝えておきましょう。